

# （仮称）野牛ウィンドファーム事業 環境影響評価方法書

## 補足説明資料

令和 5 年〇月〇日

コスモエコパワー株式会社

## 補足説明資料 目次

|                                                          |    |
|----------------------------------------------------------|----|
| 1. 純音性可聴度、振幅変調音、風速別 A 特製音響パワーレベルについて【岡田顧問】【方法書 P. 8】     | 1  |
| 2. 作業道路について【平口顧問】【方法書 P. 11】（非公開）                        | 2  |
| 3. 電気工事に係る環境保全対策について【水鳥顧問】【方法書 P. 11】                    | 4  |
| 4. 大型資材の輸送について【近藤顧問】【方法書 P. 12】                          | 4  |
| 5. 工事用車両の搬入口について【近藤顧問】【方法書 P. 13】                        | 4  |
| 6. 工事中の排水について【岩田顧問】【方法書 P. 14】                           | 8  |
| 7. 雨水排水・工事排水について【水鳥顧問】【方法書 P. 14】                        | 8  |
| 8. 工事排水対策および残土処理について【小島顧問】【方法書 P. 8、P. 14-15、P. 130-135】 | 8  |
| 9. 累積評価について【岡田顧問】【方法書 P. 16】                             | 9  |
| 10. 累積的影響について【中村顧問】【P. 16-17, P. 288】                    | 10 |
| 11. 光化学オキシダントの年平均値について【近藤顧問】【方法書 P. 28】                  | 10 |
| 12. 湧水の位置について【水鳥顧問】【方法書 P. 33、P. 34】（非公開）                | 11 |
| 13. 沢筋の調査について【水鳥顧問】【方法書 P. 38】                           | 15 |
| 14. 湖沼群における水質調査について【中村顧問】【方法書 P. 38、P. 110、P. 116】       | 15 |
| 15. 陸産貝類等について【岩田顧問】【方法書 P. 52】                           | 16 |
| 16. 河川等の利用について【岩田顧問】【方法書 P. 130】                         | 16 |
| 17. 河川水や地下水の利用について【平口顧問】【方法書 P. 136】                     | 16 |
| 18. 地質の状況について【近藤顧問】【方法書 P. 296】                          | 18 |
| 19. 工事用資材等の搬出入車両の騒音について【岡田顧問】【方法書 P. 308】                | 18 |
| 20. 建設機械の稼働に伴う騒音の評価時間について【岡田顧問】【方法書 P. 309】              | 18 |
| 21. 残留騒音とハブ高さ相当の風速との関係性について【岡田顧問】【方法書 P. 311】            | 19 |
| 22. 施設の稼働に伴う騒音評価について【岡田顧問】【方法書 P. 312】                   | 19 |
| 23. 水の濁りにについて【水鳥顧問】【方法書 P. 318】                          | 20 |
| 24. 水質調査地点について【水鳥顧問】【方法書 P. 320】                         | 20 |
| 25. 水質調査地点について【中村顧問】【方法書 P. 320、P. 335】                  | 20 |
| 26. 道路からの濁りの排水処理およびその評価方法について【平口顧問】【方法書 P. 320】          | 20 |
| 27. 環境騒音の調査地点について【方法書チェックリスト NO. 32】（非公開）                | 21 |

1. 純音性可聴度、振幅変調音、風速別 A 特製音響パワーレベルについて【岡田顧問】【方法書 P.8】

準備書では、採用する風力発電機（最大 30 基）の音響特性として、環境省の「風力発電施設から発生する騒音等測定マニュアル」や「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」に記載されているような『純音性可聴度（Tonal Audibility）』，『振幅変調音（Swish 音）』に関する特性評価も示して下さい。

また、理解し易いものとするため、ナセル高さでの風速と A 特性音響パワーレベルの関係について、図を用いて提示して下さい。

（事業者の見解）

準備書において、『純音性可聴度（Tonal Audibility）』，『振幅変調音（Swish 音）』に関する特性評価も記載します。

また、ナセル高さでの風速と A 特性音響パワーレベルの関係について、図を用いて提示します。

2. 作業道路について【平口顧問】【方法書 P.11】（非公開）

対象事業実施区域内の既設道路・林道の現況および新設道路の計画について教えてください。

（事業者の見解）

現時点における対象事業実施区域内の既設道路・林道および新設道路の計画については、図 2 に示すとおりです。

※現時点での風力発電機の配置計画は検討中であるため、非公開

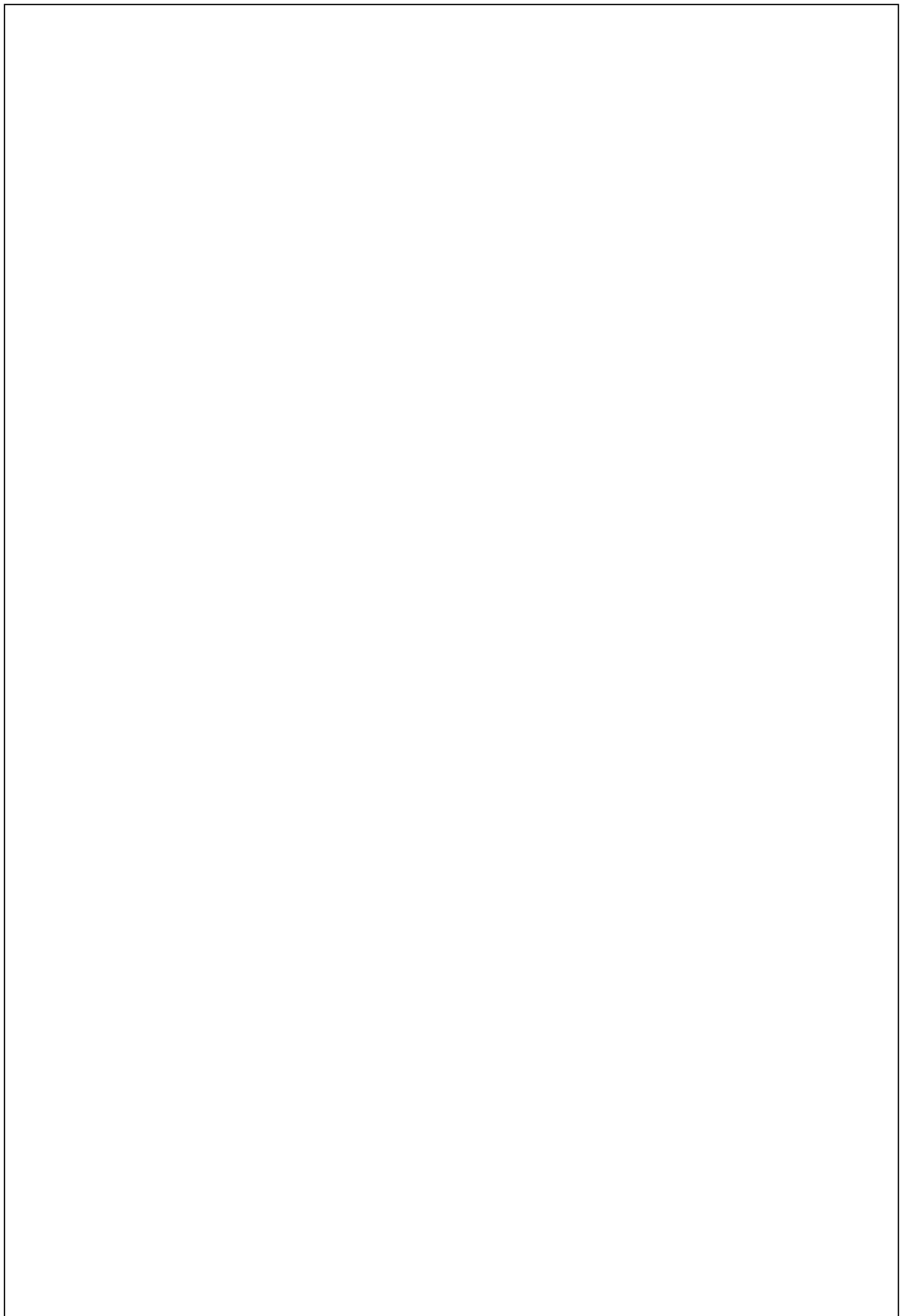


図 2 対象事業実施区域内の既設道路・林道および新設道路の計画（非公開）

**3. 電気工事に係る環境保全対策について【水鳥顧問】【方法書 P.11】**

送電線の地下埋設工事を行う場合には、準備書において本工事に係る環境保全対策についても具体的に記載していただきたい。

（事業者の見解）

準備書においては、電線路の地下埋設工事に係る環境保全対策についても具体的に記載します。

**4. 大型資材の輸送について【近藤顧問】【方法書 P.12】**

大型資材の輸送に際し、途中での積み替えを行うのでしょうか。行う場合には周辺民家等から離隔をとるようにお願いします。

（事業者の見解）

選定する風車にもよりますが、想定輸送路上での積替えを想定しています。輸送に際し積み替えが必要となる場合は、周辺民家等から離隔をとるように計画します。なお、必要があれば仮囲い等の対策を検討いたします。

**5. 工事用車両の搬入口について【近藤顧問】【方法書 P.13】**

工事用車両がどこから対象事業実施区域に入る予定なのかがわかるように対象事業実施区域周辺の拡大図も示してください。

（事業者の見解）

工事用車両の搬入ルートについては検討中ですが、現時点では図 5 のルートから搬入予定です。

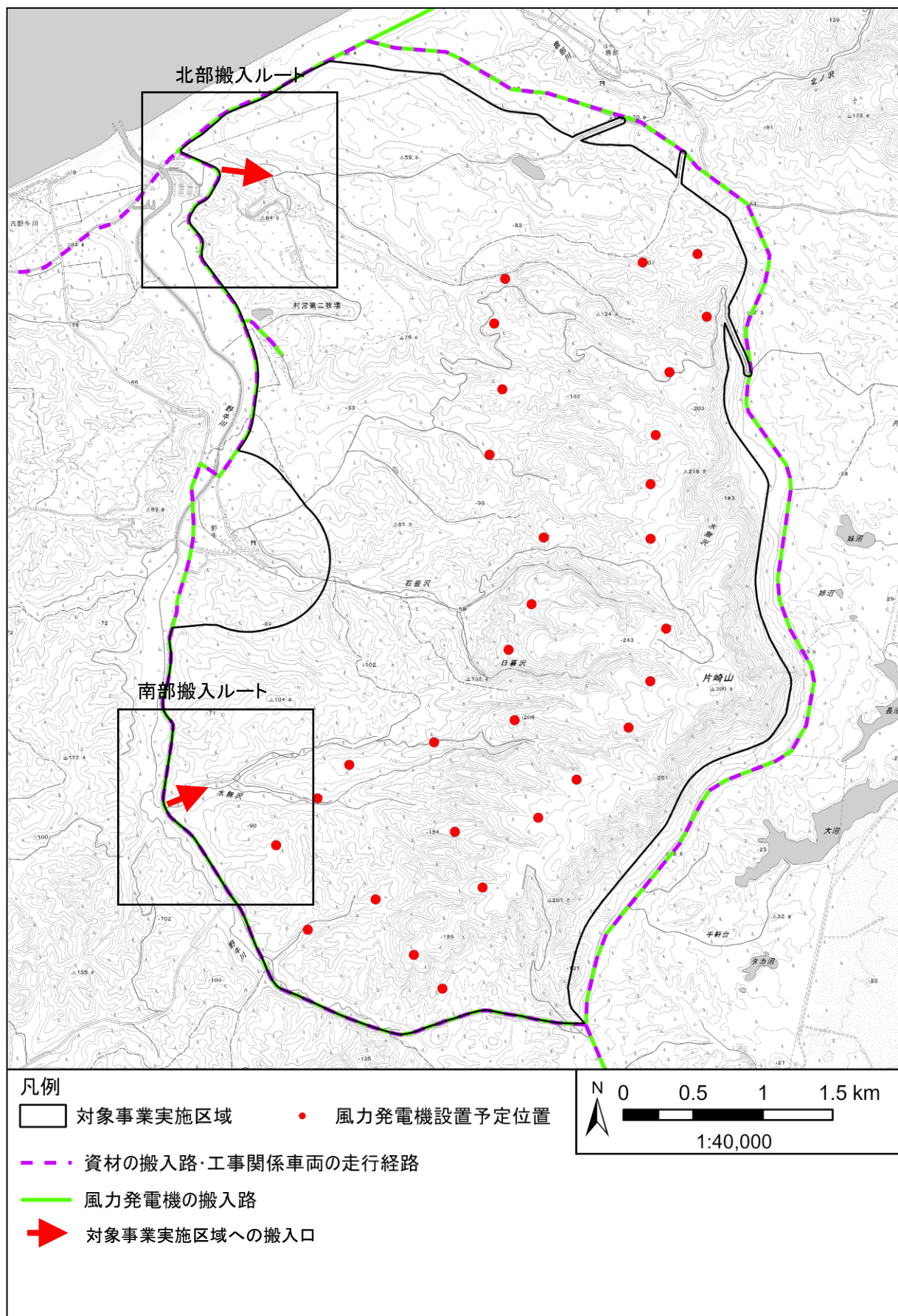


図 5(1) 工事用車両の搬入ルート

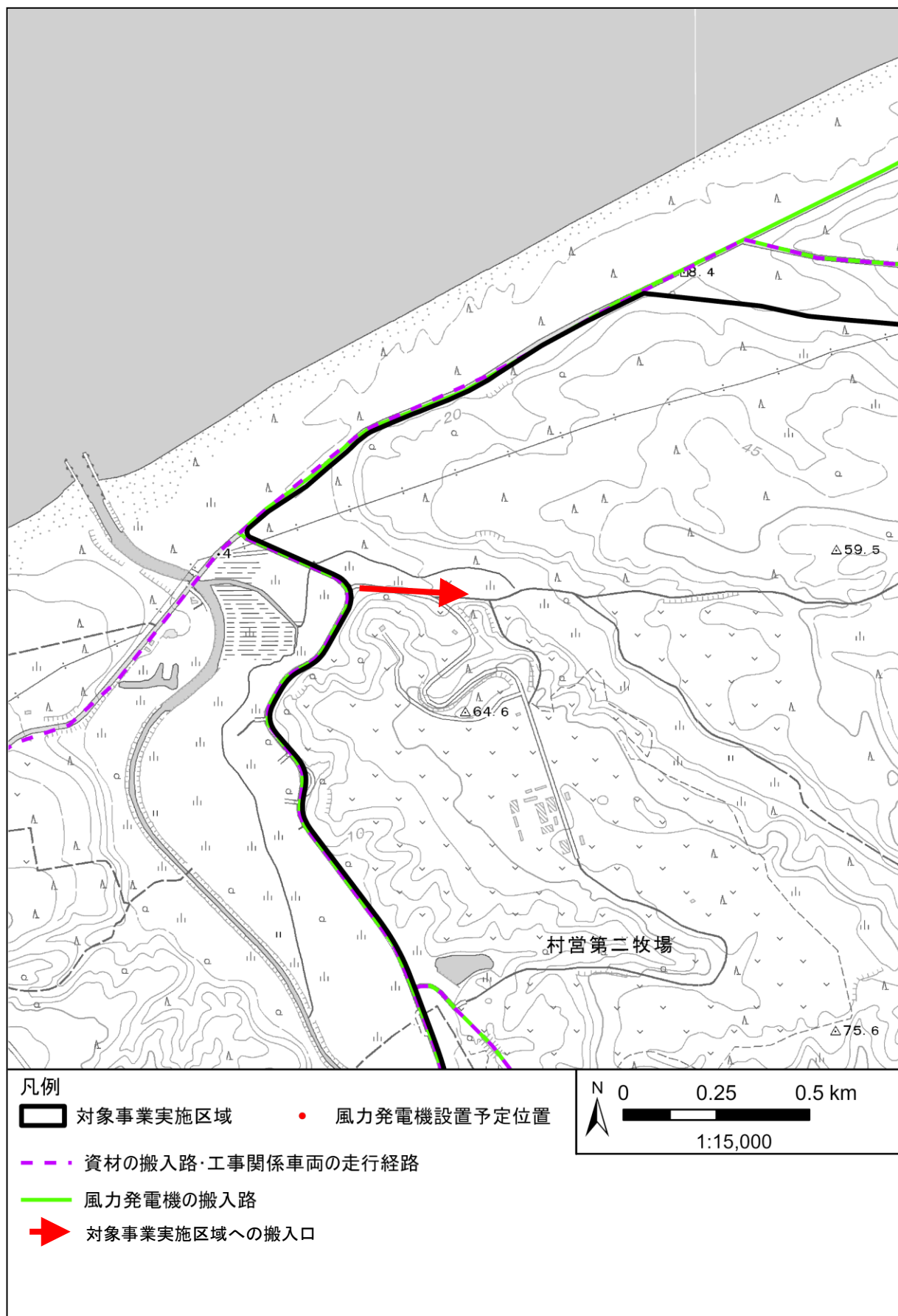


図 5 (2) 工事用車両の北部搬入ルート（詳細図）

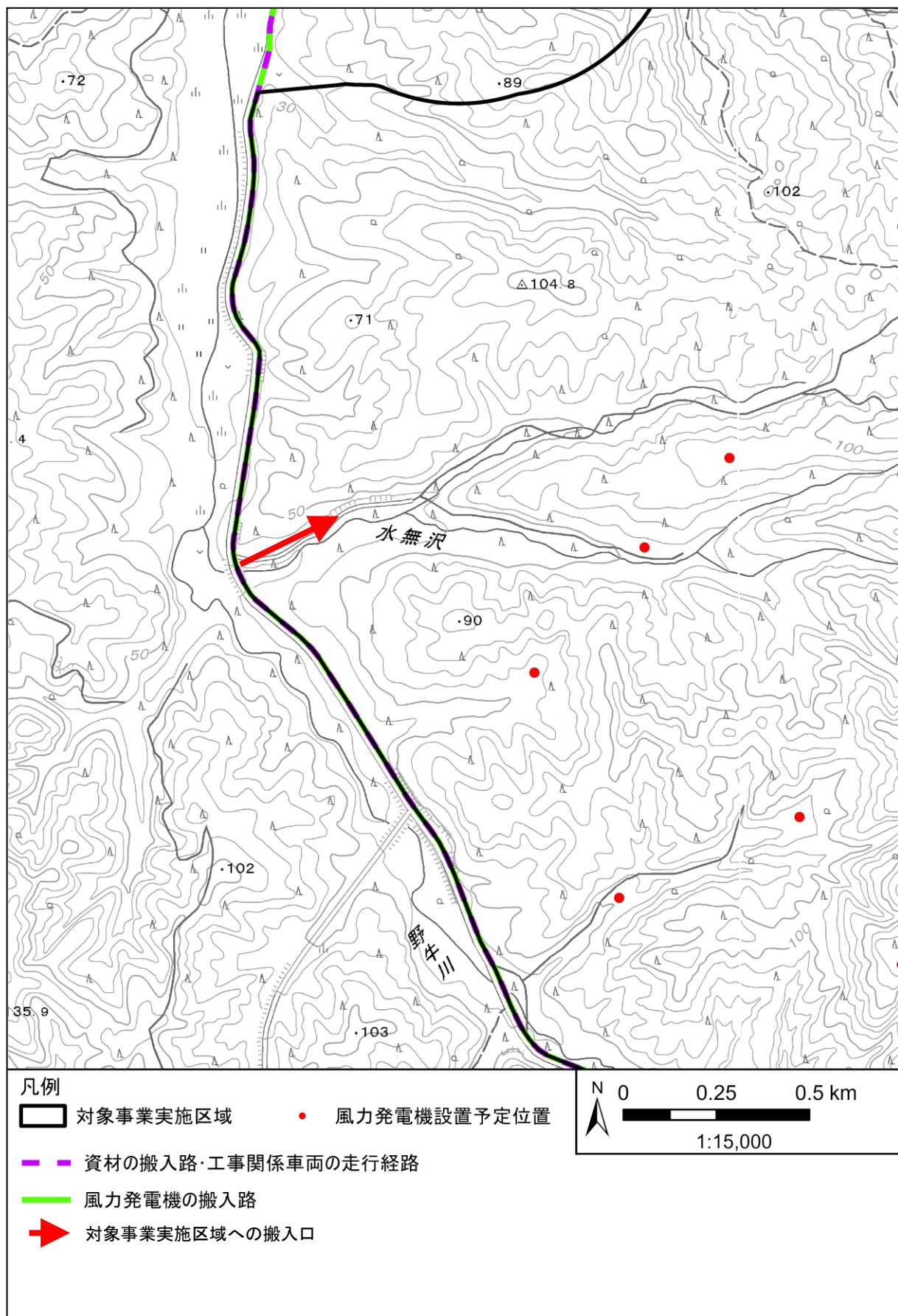


図 5 (3) 工事用車両の南部搬入ルート（詳細図）

6. 工事中の排水について【岩田顧問】【方法書 P.14】

準備書ではコンクリート打設に伴うアルカリ排水への対応についても記述することを御検討下さい。

(事業者の見解)

準備書において、コンクリート打設時のアルカリ排水への対応についての記載を検討します。

7. 雨水排水・工事排水について【水鳥顧問】【方法書 P.14】

準備書においては、風力発電機設置ヤードだけでなく、道路工事区域などを含めた雨水排水対策を、できるだけ具体的に記載・説明してください。

(事業者の見解)

準備書においては、風力発電機設置ヤードだけでなく、道路工事区域などの雨水排水対策についてもできるだけ具体的に記載・説明いたします。

8. 工事排水対策および残土処理について【小島顧問】【方法書 P.8、P.14-15、P.130-135】

総数 60 基にも及ぶ大規模な風車群となるため、工事排水および残土に関しては十分配慮が必要と思われます。特に建設予定地は野牛川水系に近いことから、建設時の濁水が同河川から津軽海峡側に流下することの無いように。また、予定地東側の大沼、長沼における内水面漁業にも影響を及ぼすことの無いよう配慮していただきたい。

(事業者の見解)

建設時の濁水が野牛川に流入しないよう、仮設沈砂池の設置や工事実施時の土工量の抑制等により、濁水や土砂の流出を最小限に抑えることで、水環境への影響を回避又は極力低減するよう検討いたします。

9. 累積評価について【岡田顧問】【方法書 P.16】

対象事業実施区域周辺における他事業について、当該発電所との累積評価に努めて下さい。よろしくお願いします。特に、現地調査の際には、計画区域近傍にある御社が運用する「岩屋ウィンドパーク」を強制停止するなど、他事業の影響付加が無い状態で、現状把握することを強く望みます。

また、他事業の環境影響評価においても、累積評価が出来るように、当該事業の詳細の予測条件を公開できるように準備することをお願いします。

（事業者の見解）

累積的影響の評価も重要な項目と考えており、稼働中の風力発電事業だけでなく、環境影響評価手続中の他事業においても、事業の具体化に応じて累積的影響の予測等への反映に努めます。

今後、環境影響評価図書（準備書以降）等の公開情報の収集や他事業者との情報交換等に努め、予測に必要なデータ（風力発電機の位置、高さ、ローター直径等の諸元、騒音特性等）を可能な限り入手し、累積的な環境影響について適切に予測及び評価を行います。

また、他事業者が累積的な影響を予測する場合は、当該事業の詳細の予測条件等の情報を可能な範囲で提供いたします。

10. 累積的影響について【中村顧問】【P.16-17,P.288】

本事業はそれ自体でかなり規模が大きい事業ですが、周辺には稼働中の風車や計画中の事業が多数存在しており、配慮書に対する経産大臣意見にもあるように、累積的影響が懸念されます。本方法書では、具体的な風車の配置計画が未定であり、累積的影響の具体的方法は記載されていませんが、準備書では、どの環境影響評価項目に対してどのように評価するのか、具体的に記載するようにしてください

（事業者の見解）

累積的影響の評価は重要であると考えており、評価項目については方法書 P6-14(242)に記載のとおり、施設の稼働に伴う「騒音」、「風車の影」及び「動物（鳥類）」、並びに施設の存在に伴う「景観」を想定しています。

準備書においては累積的影響について、具体的な評価項目の予測及び評価方法を記載いたします。また、既存施設の稼働による環境影響等の情報収集に努め、累積的影響について適切に予測及び評価を行います。

11. 光化学オキシダントの年平均値について【近藤顧問】【方法書 P.28】

表 3.1-10 の値が「昼間の 1 時間値の年平均値（ppm）」となっていますが、令和 3 年度の値が 0.040ppm で表 3.1-9 の「昼間の日最高 1 時間値の年平均値」と同じ値になっています。どちらが正しいのでしょうか。

（事業者の見解）

令和 3 年度の昼間の 1 時間値の年平均値は 0.033ppm が正しい値です。準備書において訂正いたします。

1 2. 湧水の位置について【水鳥顧問】【方法書 P.33、P.34】（非公開）

表中の湧水の位置を地図上で示してください。

（事業者の見解）

湧水の位置は図 12 に示すとおりです。

※湧水保護の観点から非公開

【2 次質問】

特に、図 12(1), (2)に示していただいた風車発電機設置位置に近い湧水 No2 については、事前事後の湧水量や水質の変化などについてモニタリングしておいていただきたい。

（事業者の見解）

風車発電機設置位置に近い湧水 No2 については、現地確認の上、事前事後の湧水量や水質の変化などについてモニタリングを検討いたします。

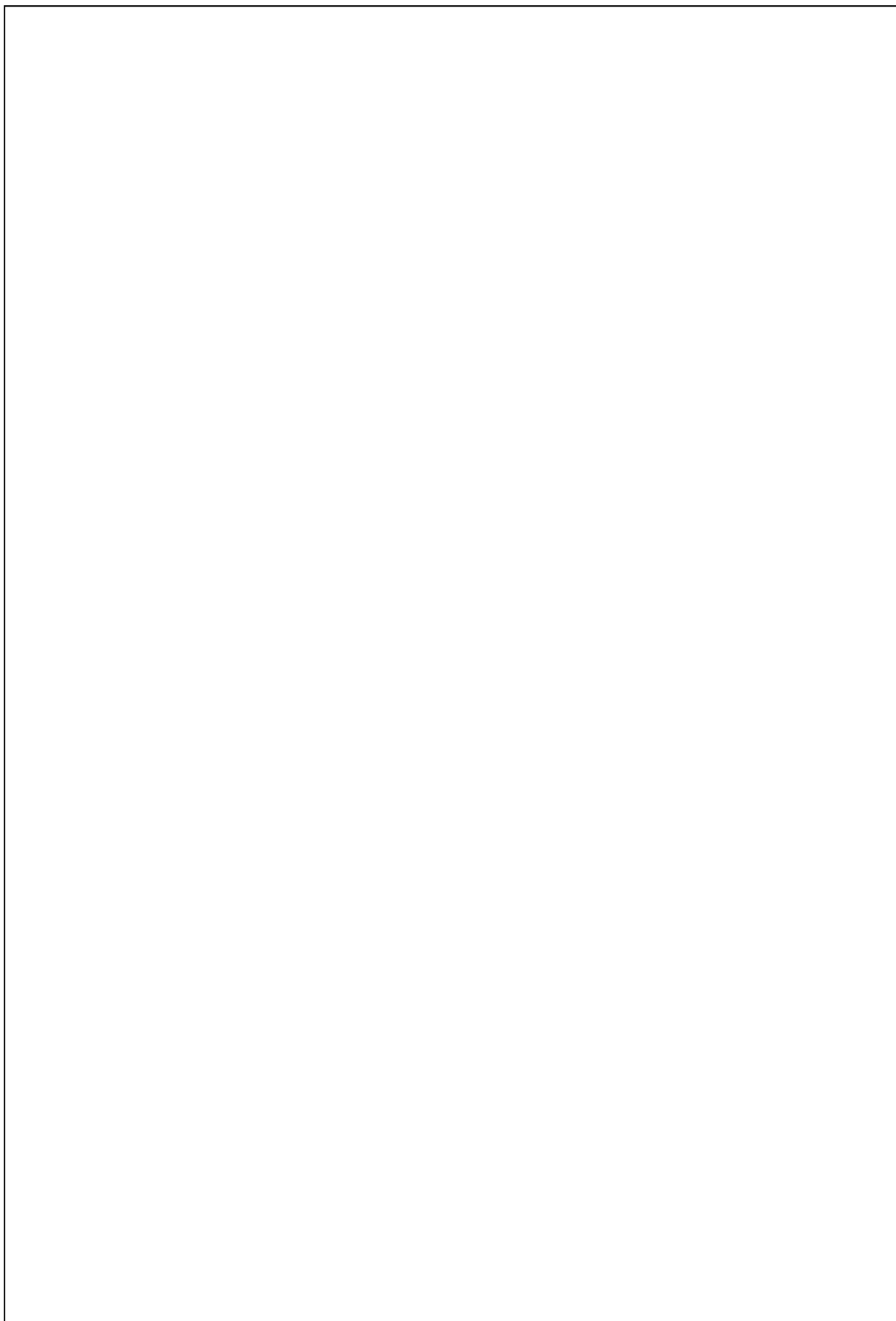


図 12(1) 対象事業実施区域及びその周辺の湧水の位置 (非公開)

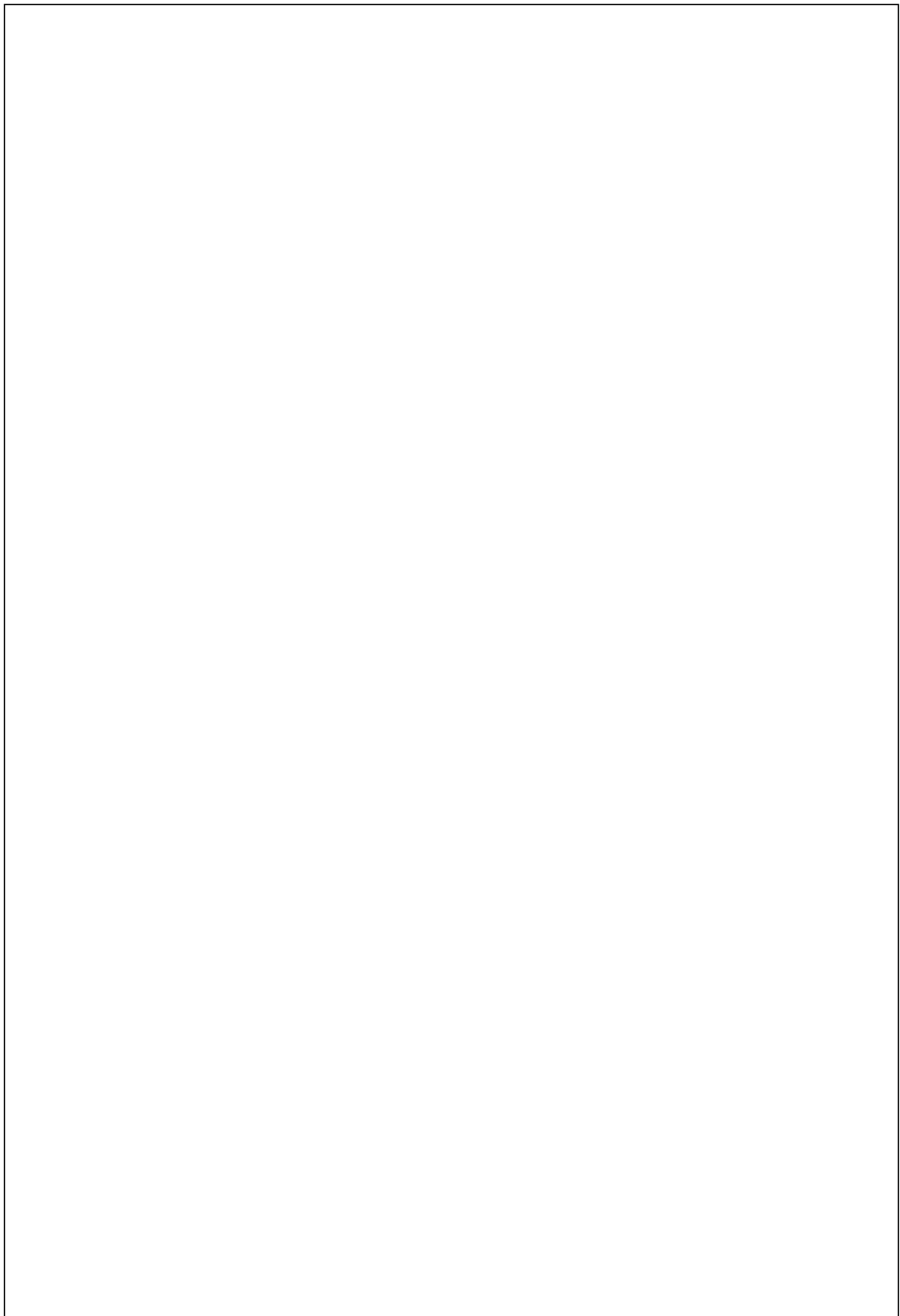


図 12(2) 対象事業実施区域及びその周辺の湧水の位置（中央部・詳細図）（非公開）

表 10 (1) 対象事業実施区域及びその周辺の湧水

| No | 名称            | 所在地                    | 概要                                                                                                                       |
|----|---------------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | (名称無し)        | 東通村<br>大字蒲野沢字稲<br>崎平   | 集落の西端にある「ほろ崎神社」に至る道沿いの沢に位置する。湧水をコンクリートの貯水槽に貯め塩ビニ管で村に運んだ。                                                                 |
| 2  | (名称無し)        | 東通村<br>大字野牛字水上         | 湾台(山)に行く途中で、本牧場であった小高い丘の低地に二カ所ある。下流から見て左側の泉は水量が多く、右側の泉は水量は少ないが綺麗で冷たい。合流した川の中流に水車があり、製粉等に利用された。                           |
| 3  | (名称無し)        | 東通村<br>大字野牛字前山<br>(裏部) | 雑木の根元に湧水が溜り小池になっており、周囲は細長い低地で水が浅く溜まっている。昭和 36 年頃の砂鉄発掘時にもとよりあった泉を整備した。                                                    |
| 4  | (名称無し)        | 東通村<br>大字岩屋字往来         | 小屋に貯水槽があり、直径 5 cm の塩ビニパイプより大量に出て、コンクリート製の溝を流れ海に注いでいる。水は大変豊富であり、洗濯のほか、海藻、魚類の洗浄に利用された。                                     |
| 5  | 水神の水          | 東通村<br>大字尻屋字水神         | イタヤカエデの根元横にあり、流れ出た水はコンクリート製の水槽に溜り、直径 3 cm の塩ビニパイプより下流に流れる。神様の水として信仰した。飲料水のほか、西瓜、魚の冷却、水田等に利用した。水量が豊富で水車があった。              |
| 6  | (名称無し)        | 東通村<br>大字尻屋字八重<br>越    | 水量が多く、コンクリート製の水槽に溜め、直径 5 cm の塩ビニパイプより流れ出ている。綺麗で冷水のため、沖に出る人が飲料水として持参する場合もある。                                              |
| 7  | 岸島の水          | 東通村<br>大字尻屋字念仏<br>間    | 太平洋岸の波打際で、泉は大・小石で囲まれた砂より出ており、綺麗で冷たい。水泳、浜仕事のときの飲料水とした。干潮時でなければ見られない。                                                      |
| 8  | 田頭の水          | 東通村<br>大字尻屋字念仏<br>間    | 道路下の低地で、イタヤカエデと雑木で囲まれた涼しい場所であり、イタヤカエデの下からと、その反対側の二カ所より出ている。畑仕事時の飲料水と、水田用水として利用された。                                       |
| 9  | 水神林の水         | 東通村<br>大字尻労字高倉         | 小川の奥に竜神様が祀られている。竜神様の水は眼病によく効く有り難い水といわれ、人々はその場で飲んだり、家に汲んできて目薬として洗眼した。境内に成長している植物を切ったりすれば怪我をするという言い伝えがある。                  |
| 10 | くらこの水         | 東通村<br>大字尻労字焼山         | 泉の水を 1 m <sup>3</sup> のコンクリート製の貯水槽に溜め、直径 3 cm の塩ビニパイプで下の貯水槽に流し入れ、余水は下流に注がれている。雨が降っても濁らず綺麗で冷水である。飲料水としていた。昭和 55 年頃水槽を作った。 |
| 11 | マジョコバヤ<br>シの水 | 東通村<br>大字尻労字焼山         | 杉山の傾斜面下の低地より音を立てて湧き出ており、冷たく、綺麗である。水は湿地を通り川に通じている。今は泉の左上に下水が流れているため利用していない。飲料水や畑への掛け水としても利用していた。                          |
| 12 | 沢内の滝          | 東通村<br>大字尻労字沢内         | 石灰岩の下を流れ地上に湧き出ている豊富な水量で、綺麗で冷たい水で部落民の貴重な飲料水であった。                                                                          |

表 10 (2) 対象事業実施区域及びその周辺の湧水

| No | 名称     | 所在地                 | 概要                                                                                                 |
|----|--------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13 | アズドマの水 | 東通村<br>大字尻労字下堀<br>川 | 海に面した岩石の急斜面の二カ所より、大量の水が滝の如く流れ落ちている。やや北側の二カ所に泉があり、いずれも少量で地下に浸透している。水泳をする人たちが飲料水にしたり、製塩の際の用水として利用した。 |
| 14 | (名称無し) | 東通村<br>大字野牛字井戸<br>前 | もとの掘井戸より少し離れた場所に、今より 20 年前にモータを設置して水をあげ、現在でも利用している。木の枠を入れた掘井戸で、水質も良くまわりの人々は飲料水や使い水として利用した。         |
| 15 | (名称無し) | 東通村<br>大字岩屋字田畑      | 尻労寄り襲部村はずれの道路右側で、小屋にタービンポンプを設置し直径 7cm のパイプで水槽まであげ、ここから毎戸に排水し利用していた。                                |

### 1 3. 沢筋の調査について【水鳥顧問】【方法書 P.38】

沢筋の所在は濁水到達推定結果の評価に大きく影響しますので、現地調査において地元ヒアリングを含め、新たな沢筋の調査をお願いします。

#### (事業者の見解)

現地調査において、地元ヒアリングを含め、可能な限りの沢筋調査に努めます。

### 1 4. 湖沼群における水質調査について【中村顧問】【方法書 P.38、P.110、P.116】

事業実施区域の東側には、日本の重要湿地に指定され、鳥獣保護区にもなっている湖沼群が存在します。鳥や水生生物等の利用を考えるうえで重要な湖沼群だと思います。公共用水域の測定点には指定されていないようですが、何らかの水質調査は案されていないのでしょうか。

#### (事業者の見解)

対象事業実施区域の東側は造成等の改変を行わない計画としていることから、水質調査を予定しておりません。しかしながら、今後の詳細設計により、事業による影響が想定される場合には、水質調査を検討いたします。

なお、北東側の風力発電機配置予定位置は東側に流れる河川の集水域内にあり、改変区域の下流側で、東側の湖沼群（尻屋小沼）の上流側に位置する水質 2 地点で水質調査を予定しています。

15. 陸産貝類等について【岩田顧問】【方法書 P.52】

「青森県レッドデータブック（2020 年版）」には、「昆虫類以外の無脊椎動物」として東通村に生息可能性のある陸産貝類等が記載されていますが、重要な動物として影響評価の対象とする必要はありませんか。

（事業者の見解）

事業による改変区域以外にも陸産貝類の生息環境は広く残存するものの、事業による陸産貝類の影響が懸念されることから、陸産貝類調査の実施を検討します。

16. 河川等の利用について【岩田顧問】【方法書 P.130】

対象事業実施区域及びその周辺では水道等の河川の利用はありませんか。

（事業者の見解）

対象事業実施区域及びその周辺には「野牛浄水場」及び「岩屋浄水場」が整備されており、それぞれの水源は「深井戸水」を利用しておりますので、水道への河川の利用はございません。

17. 河川水や地下水の利用について【平口顧問】【方法書 P.136】

東通村では深井戸による上水道を利用しているとのことですが、河川水の浄水への利用は無いのでしょうか。

野牛浄水場や岩屋浄水場の場所を図示して下さい。また、これらは深井戸を利用した浄水場でしょうか

（事業者の見解）

対象事業実施区域及びその周辺には「野牛浄水場」及び「岩屋浄水場」が整備されており、それぞれの水源は「深井戸水」を利用しておりますので、水道への河川の利用はございません。

野牛浄水場及び岩屋浄水場の位置は、図 17 に示すとおりです。

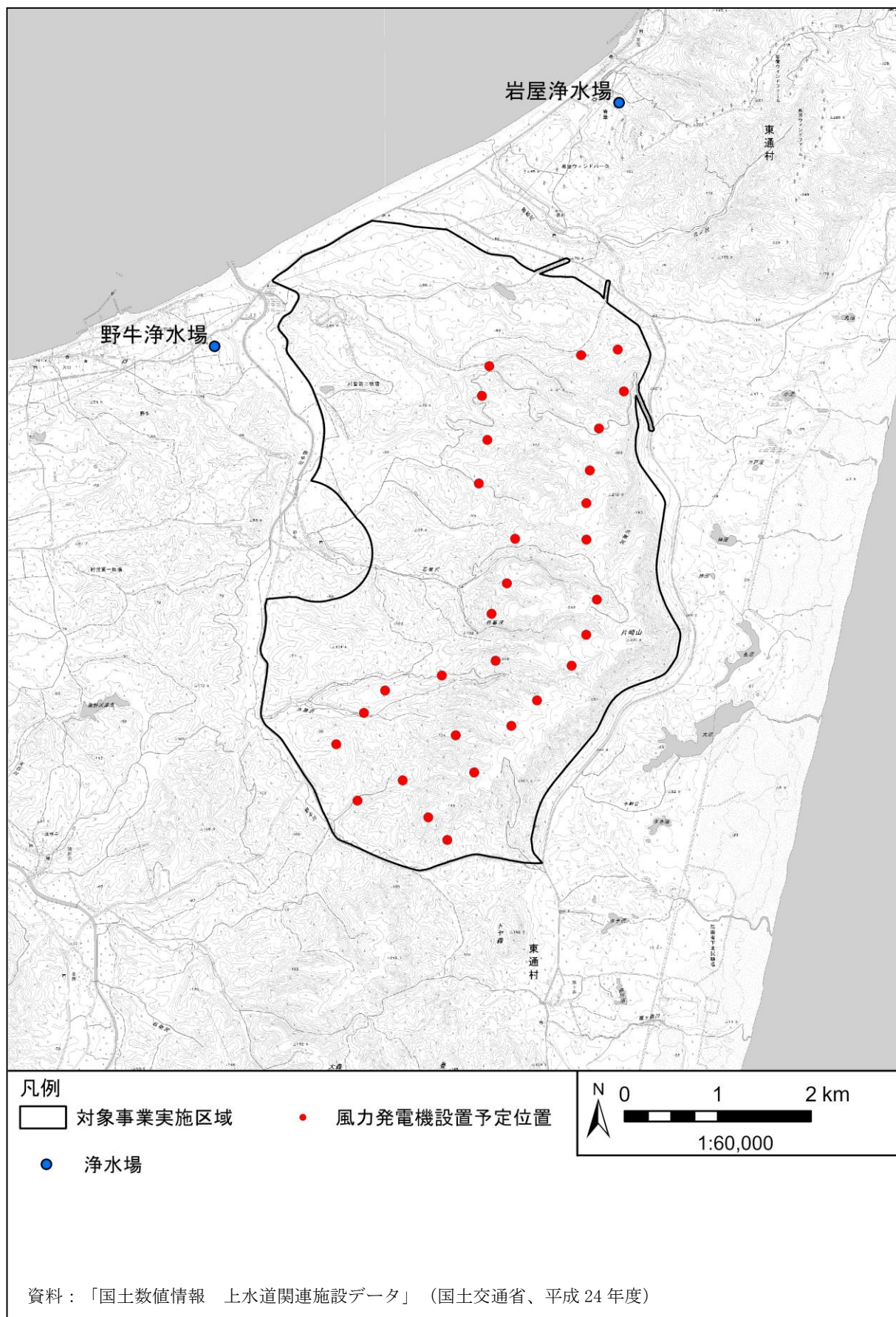


図 17 野牛浄水場及び岩屋浄水場の位置

18. 地質の状況について【近藤顧問】【方法書 P.296】

地質の状況に「一部に石灰岩を含む」との記載がありますが正しいでしょうか。石灰岩でしょうか？

（事業者の見解）

「一部に石灰岩を含む」が正しい記載です。準備書において訂正いたします。

19. 工事用資材等の搬出入車両の騒音について【岡田顧問】【方法書 P.308】

表 6.2-3 (2) にて、予測計算に用いる各車種の走行速度、交通量、また車両の音響パワーレベルの計算方法など、準備書に必ず明記して下さい。

（事業者の見解）

道路交通騒音の予測計算に用いる各車種の走行速度、交通量、また車両の音響パワーレベルの計算方法など、準備書に記載いたします。

20. 建設機械の稼働に伴う騒音の評価時間について【岡田顧問】【方法書 P.309】

表 6.2-4 (1) の「6. 予測の基本的な手法」には、等価騒音レベル  $L_{Aeq}$  を予測すると記載されています。 $L_{Aeq}$  を用いて評価する際、環境基準の時間区分（16 時間）で平均するのではなく、工事実施時間（8 時間など）で平均化し評価することを望みます。その理由は、工事を実施していない時間を含めた予測は過小評価に繋がるからです。なお、事業者独自の判断で、環境基準の 16 時間を用いることに対して、自治体や住民の理解が得られている状況であれば、異論ありません。

ただし、準備書には「工事実施時間」と「評価時間」を、必ず明記して下さい。予測条件が不明ですと、住民の誤解を生みます。

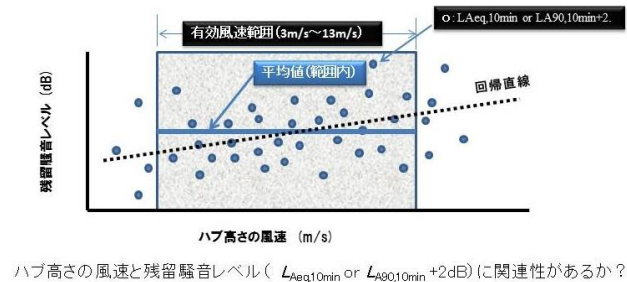
（事業者の見解）

建設機の稼働に伴う騒音については、環境基準の適用外とされていますが、参考として環境基準値との比較を行います。評価時間については、環境基準の時間区分（16 時間）に従い、16 時間の平均で評価いたします。

自治体や住民の理解のため、必要に応じて、工事実施時間での評価も検討いたします。

## 2 1. 残留騒音とハブ高さ相当の風速との関係性について【岡田顧問】【方法書 P.311】

表 6.2-5 (1) 「環境騒音の状況」では、残留騒音を測定調査し、その評価量には ( $L_{A90} + 2\text{dB}$ ) を用いると読み取りました。なお、残留騒音は、その地域性や季節性などで変化するため、準備書では、下の図を参考に、調査地点ごとの残留騒音とハブ高さ相当の風速との関係性も整理してもらいたいと考えます。

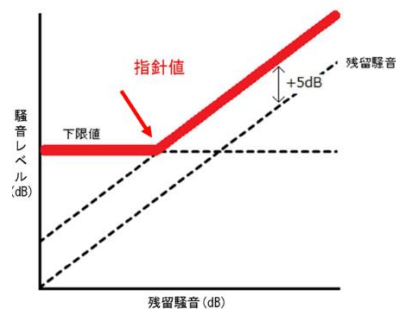


(事業者の見解)

準備書時点で残留騒音とハブ高さ相当の風速との関係性を整理いたします。

## 2 2. 施設の稼働に伴う騒音評価について【岡田顧問】【方法書 P.312】

表 6.2-5 (2) の「10. 評価の手法」にて、施設の稼働に伴う騒音評価について、「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」に示される指針値との対応を検討する際は、下図のように整理するなど、住民にも分かり易い評価と説明に努めて下さい。



さらに、予測計算に用いた「風車騒音の各周波数の音響パワーレベル（設定した風速条件も含む）など」の前提条件も、準備書に必ず明記して下さい。

施設の稼働に伴う騒音評価については、図を用いて整理するなど、住民に分かり易い評価と説明  
(事業者の見解)

に努めます。

また、近隣の住居地域に対しては十分な説明を行い、住居地域の環境配慮に努めます。予測条件は、住民の誤解を招かないように明確な記載に努めます。

23. 水の濁りについて【水鳥顧問】【方法書 P.318】

水の濁りの予測にあたっては、最近の気象状況を踏まえ、日常的な降雨条件だけでなく、集中豪雨的な強雨時の降雨条件も検討していただきたい。

（事業者の見解）

水の濁りの予測にあたっては、最近の気象状況を踏まえ、日常的な降雨条件だけでなく、集中豪雨的な強雨時の降雨条件も検討いたします。

24. 水質調査地点について【水鳥顧問】【方法書 P.320】

搬入路工事やアクセス道路工事に伴う濁水発生の可能性がある場合には、道路工事ヤードからの排水箇所を考慮し、必要な場合は水質調査地点の追加をお願いします。

（事業者の見解）

搬入路工事やアクセス道路工事に伴う濁水発生の可能性がある場合には、道路工事ヤードからの排水箇所を考慮し、必要な場合は水質調査地点の追加を検討いたします。

25. 水質調査地点について【中村顧問】【方法書 P.320、P.335】

水質調査地点のうち「水質 2」、魚類・底生動物調査地点の FB2 は同じ地点だと思いますが、色付けされた流路が途中で切れており、流路がどこに向かっているのかが判然としません。この集水域の水は東流しているのでしょうか？

（事業者の見解）

地形の勾配及び現地確認において東側に流れていることを確認しています。

26. 道路からの濁りの排水処理およびその評価方法について【平口顧問】【方法書 P.320】

6.2-2（水質調査地点）は各ヤードと集水域の関係が分かりやすく描かれており、調査地点の設定根拠が理解しやすいものになっています。

一方、道路についてはその線形や既設・新設が明示されていないので、不明な点があります。道路からの濁りの排水処理およびその評価方法について述べて下さい。

（事業者の見解）

道路からの濁りの排水処理については今後詳細設計を行うこととなりますが、濁水が河川に到達しないように側溝および沈砂池を整備することを検討しています。

27. 環境騒音の調査地点について【方法書チェックリスト NO.32】（非公開）

（事業者の見解）

環境騒音の調査地点の地点図及び写真は、図 27 に示すとおりです。

※個人情報を含むため非公開

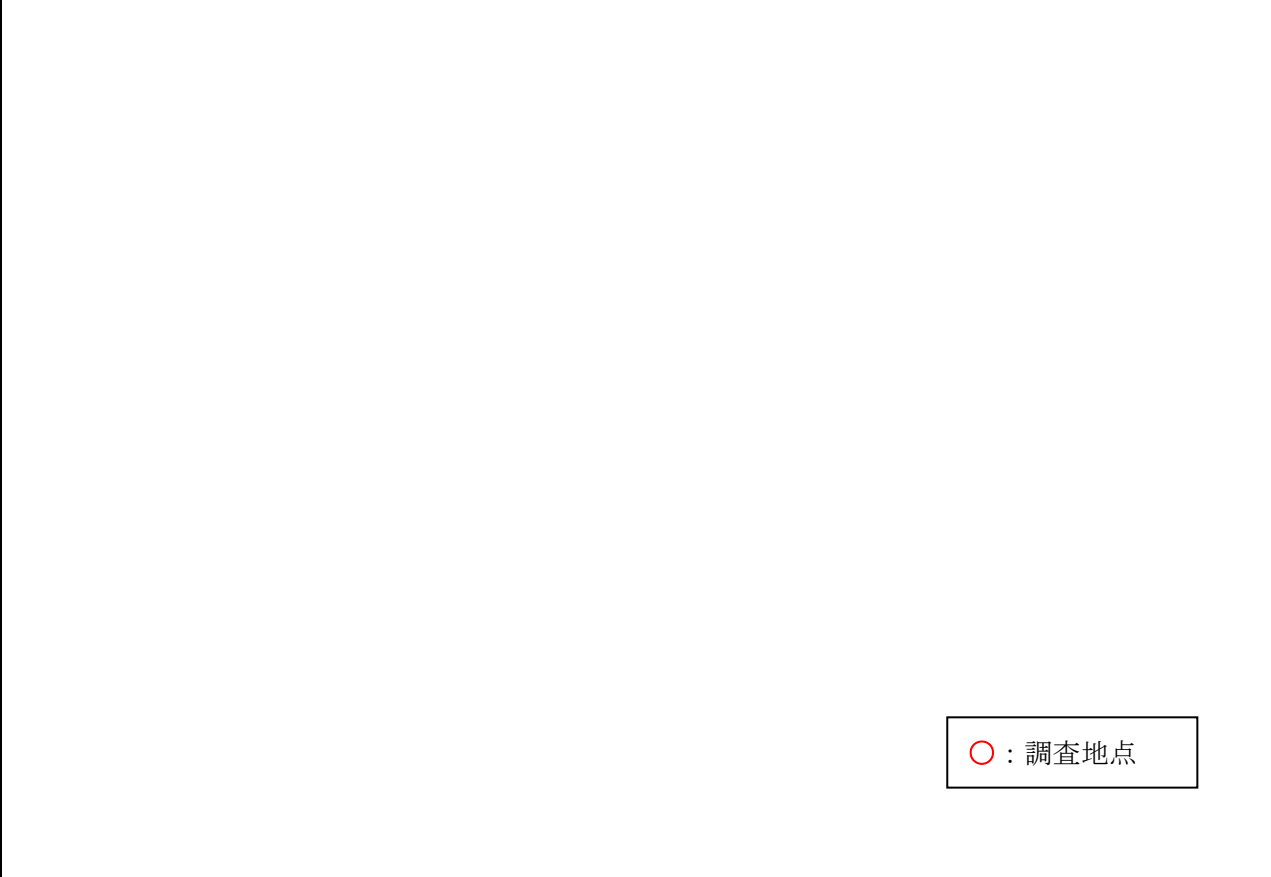
| 【地図】                                                                                                                                                                                                                                               |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  <div data-bbox="1125 992 1378 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> ○ : 調査地点 </div> |  |
| 【写真】                                                                                                                                                                                                                                               |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                    |  |

図 27(1) 環境騒音の調査地点図（環境 1：襦部地区）（非公開）

| 【地図】                                                                                                                                                                                                |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ○：調査地点 </div> |  |
| 【写真】                                                                                                                                                                                                |  |
|                                                                                                                                                                                                     |  |

図 27(2) 環境騒音の調査地点図（環境 2：野牛地区）（非公開）

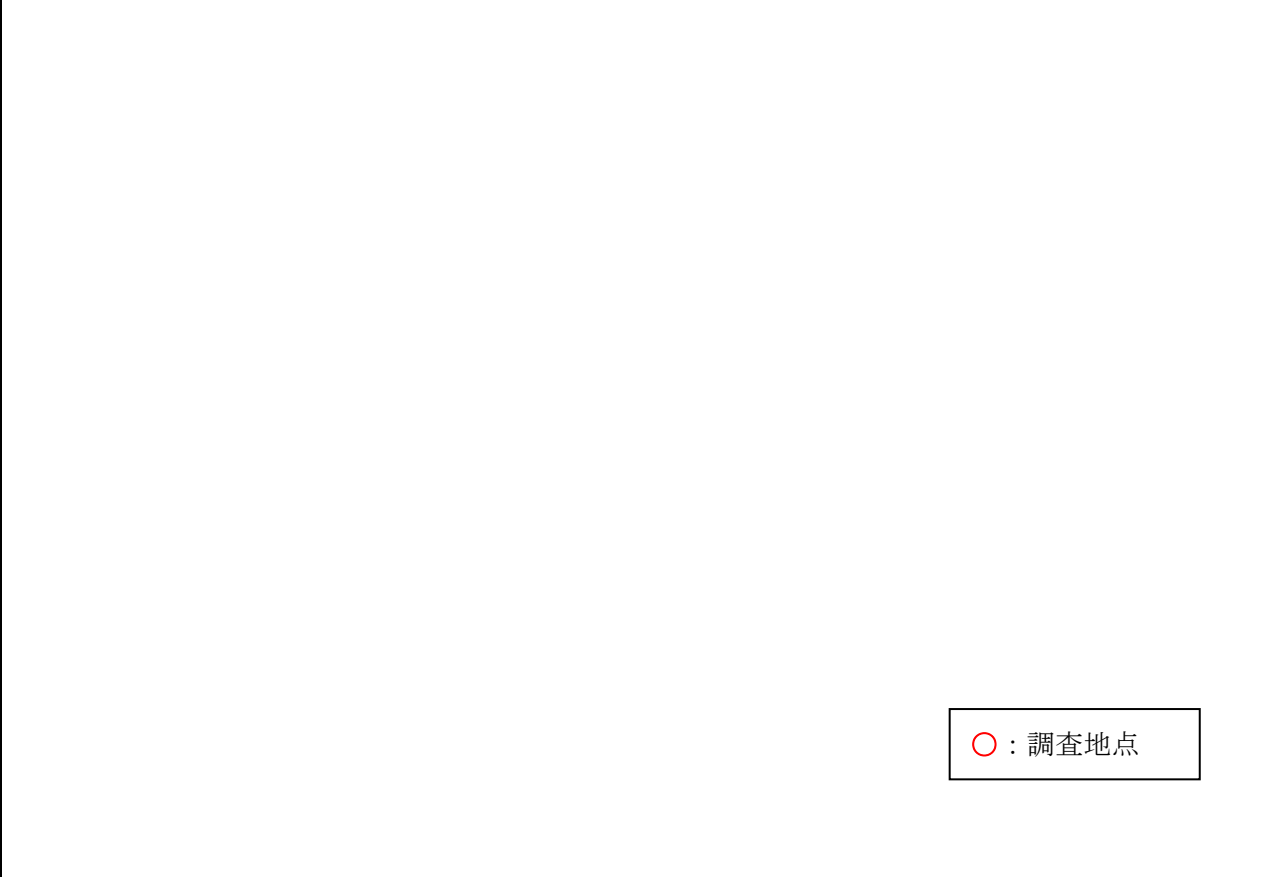
| 【地図】                                                                                                                                                                                                           |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  <div data-bbox="1126 985 1380 1055" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ○ : 調査地点 </div> |  |
| 【写真】                                                                                                                                                                                                           |  |
|                                                                                                                                                                                                                |  |

図 27 (3) 環境騒音の調査地点図（環境 3：猿ヶ森地区）（非公開）